学校番号	1016

令和８年度　対話研究科

教科	対話研究	科目	手話表現	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	ー						
副教材等	新手話ハンドブック　（三省堂）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

○主に、初めて手話に触れる人を対象にした授業展開です。
○あいうえお（指文字）からはじめ、ゆっくり丁寧に進めます。
○手話は、読み取る力と表現する力のどちらも必要なため、毎時間、前回までに学習したところから読み取り小テストを実施するとともに当日学習した手話を用いて自ら考えた文を発表します。
○学期末考査では、難易度の高い読み取り問題と、自ら考えた 3 文を表現もしくは 10 文から担当者が指定した3文を表現する2つの考査をおこないます。学年末考査はグループ毎に発表します。
○この授業では、手話を学ぶだけでなく、合理的配慮や聴覚障がい者の抱える問題なども学習することで、多様な価値観を受容する心や、困っている人に対して自ら何ができるかを考える力も養います。
○1 年間まじめに取り組めば、ゆっくりとした日常会話ができるようになり、新たな世界が広がります。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
○基礎的な手話を理解し、自らの考えを手話を用いて表現できる。
【思考力、判断力、表現力等】
○日常生活に必要な基礎的な手話を学習し、聴覚障がい者とのコミュニケーションをとることができるようになる。
【学びに向かう力、人間性等】
○聴覚障がい者の抱える問題や合理的配慮を学習することで、自らが主体的に行動できる資質を養うとともに、多様な考え方や価値観を受容できるようになる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	指文字および基礎的・日常的な手話単語に基づいた会話文を学習し、定着をはかるために手話の読み取りテストとして毎回の小テストおよび各学期末考査を実施する。	毎時間および学期末考査において、学習した手話を用いて生徒自ら文を考え発表する。 学期末考査では、多くの単語を用いた長文を考え発表する。 手話での会話では、表情や相手に伝えようとしているかが大切であることを理解させる。	合理的配慮や多様な価値観を受容できる力を養う授業では、自らがその場面に直面した場合を想像させ、何ができるかを考えさせる。 困っている人を見かけた際に自ら考え主体的に行動できる態度を身につけさせる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	指文字	ガイダンス 指文字 手話で自己紹介 数字・テキスト	a:指文字を会得し、指文字を使った簡単な単語を読み取ることができる。 b:自己紹介や学習した指文字を使って簡単な単語を発表することができる。 c:手話を読み取ること、発表することに意欲的に取り組んでいる。積極的に文章作成に取り組んでいる。	小テスト	課題の発表	課題への取り組み
	手話単語を学ぶ	過去の発表の映像を見る 都道府県 第2考査発表課題作成 第2考査(読み取り・発表)	a:都道府県の手話を会得し、読み取ることがきる。 b:都道府県を含む５語以上３文を自ら考え、すべて暗記して発表することができる。 c:・手話を読み取ること、発表の文を考える課題に意欲的に取り組んでいる。 ・興味をもって他人の発表を見て、研究している。	・小テスト ・定期考査の読み取り	・課題の発表 ・第２考査発表課題	・課題発表プリント ・発表を見る態度 ・ワークシート
2学期	合理的配慮他	1学期の復習 映像を見る 合理的配慮	a:指文字、数、都道府県を読み取ることができる。 B:・指文字、数、都道府県を使った文章を発表することができる。 ・合理的配慮について知り、自分なりの考えをもつことができる。 c:・手話を読み取ること、発表の文を考える課題に意欲的に取り組んでいる。 ・合理的配慮について、積極的に発表している。	小テスト	・課題の発表 ・合理的配慮プリント	・授業プリント ・課題への取り組み

	長文を表現する	テキスト 映像を見る 日常会話 第4考査発表課題作成 第4考査(読み取り・発表)	a:日常会話に関する手話を会得し、文章を読み取ることができる。 b:日常会話に関する手話７語以上 10 文を自ら考え、暗記して発表することができる。 c:・手話を読み取ること、発表の文を考える課題に意欲的に取り組んでいる。 ・興味をもって他人の発表を見て、研究している。	・小テスト ・定期考査の読み取り	・課題の発表 ・第４考査発表課題	・課題発表プリント ・発表を見る態度 ・ワークシート
3学期	まとめ(グループ発表)	グループを決め、何を発表するか検討 必要な手話表現を自ら調べる 第5考査(グループ発表)	a:発表内容を考え、必要な手話を自分で調べ会得する。 b:・発表に必要な手話を表現することができる。 ・聴覚障がいのある人へ伝わりやすさを考え、創意工夫して内容を考えることができる。 c:発表内容の決定や練習に意欲的に取り組んでいる。 ・他の発表を興味をもって鑑賞し、良いところを見つけることができる。	発表における個人技能およびグループ全体の仕上がり	グループ内の表現分担およびグループ内討議・進行・発想	発表までの各個人の取り組みや他グループの感想・鑑賞態度

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度